

指導者実習資料 5・6

第3章「面接応対」『2 窓口応対』における、窓口応対のロールプレーを指導する。

[窓口応対のロールプレー]
(60分)

シート40の参照・説明が終了。

- **(発言)** これから窓口応対についてのロールプレーをいくつか行う旨話し、各ロールプレーの状況設定についての説明、ロールプレーの実施、講評という流れでロールプレーを進める旨説明する。
- **(参照・説明)** シート23「窓口応対のロールプレー観察ポイント」を参照させ、説明する。

(ロールプレーのサイクル)

(説明) 実施するロールプレーのシートを参照させながら、ロールプレー実施のねらい、状況設定、ロールプレーの流れ、観察のポイントを簡単に説明する。(2分)

↓

○ **(実施)** ロールプレーを実施する。(5分程度)

↓

○ **(配付・講評)** 実施したロールプレーの職員役メモを住民役に、住民役メモを職員役及びその他の参加者に配付し、職員役の演技について講評する。自らの演技について演者の感想を聞いたり、演技について他の参加者の意見を求めながら講評してもよい。(5分)

◆窓口応対のロールプレーは5つ用意されており、その中から3つを選び、実施する。最初のロールプレーは本来の指導者が指導し、残りの2つを指導者実習5及び6とする。

◆各ロールプレーの講評については、配付されたシート23「窓口応対のロールプレー観察のポイント」を参考にとよい。

○ **（実施）** 最初のロールプレーについては、本来の指導者が上記ロールプレーのサイクルを指導する。

○ **（実施）** 次のロールプレーのサイクルについては、指導者実習5に当たる研修参加者が指導する。

○ **（講評）** 本来の指導者が、指導者実習5を行った研修参加者の指導ぶりについて講評する。

○ **（実施）** 次のロールプレーのサイクルについては、指導者実習5に当たる研修参加者が指導する。

○ **（講評）** 本来の指導者が、指導者実習6を行った研修参加者の指導ぶりについて講評する。

◆ 仮にシート25のロールプレーを実施したときには、参考シート6「障害のある人に対する望ましい応対」を参照させてもよい。

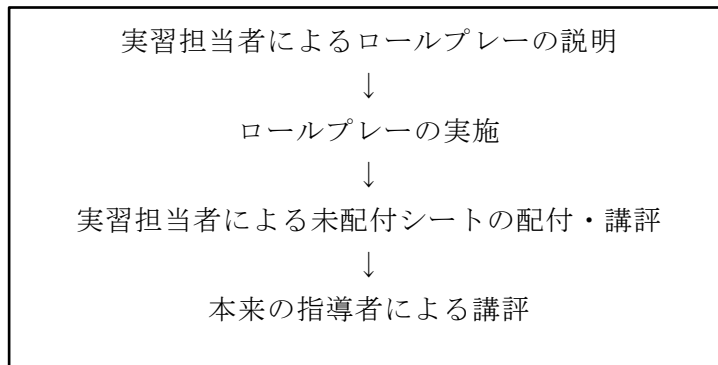
◆ ここまでは本来の指導者が指導する。

◆ **指導者実習5**はここから始まり、ここで終了する。(15分)

◆ **指導者実習6**はここから始まり、ここで終了する。(15分)

【指導する際の留意点】

- ロールプレーの説明に当たっては、割り当て、状況設定について研修参加者に誤解がないか、また、小道具など用意すべきものが用意されているか確認する。
- 指導者実習は次のような流れになる



- 研修参加者によるロールプレーの実施時間は5分程度を予定しているので、あまりに長くなったときには途中であっても打ち切る。
- 職員役の研修参加者に対する講評については観察ポイントに基づいて行うが、時間の制約もあり指摘する事項は2、3点でよい。指摘する場合には、良かった点と改善が望まれる点の両方を挙げる。